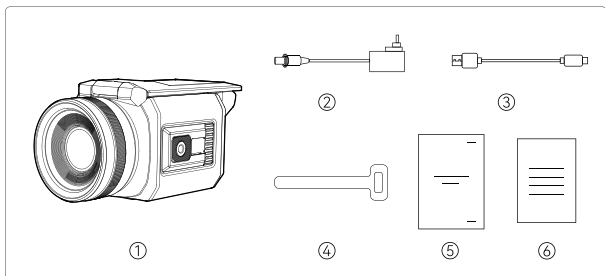


VenusLiv 取扱説明書

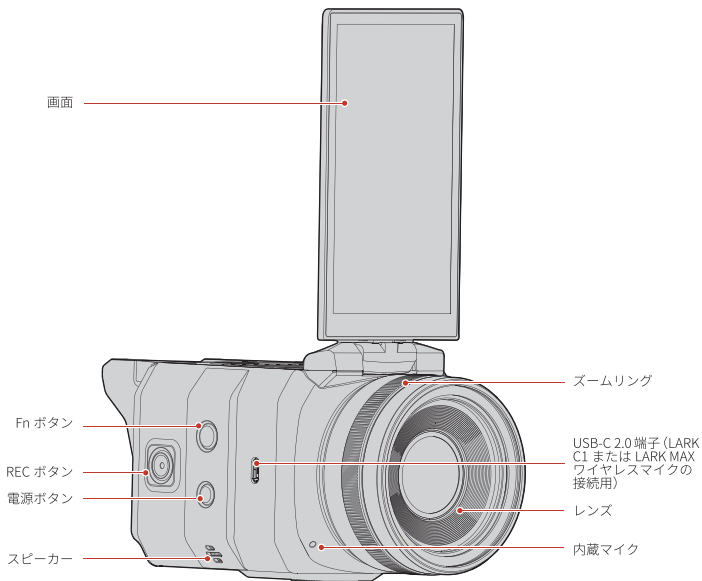
V2.0.0

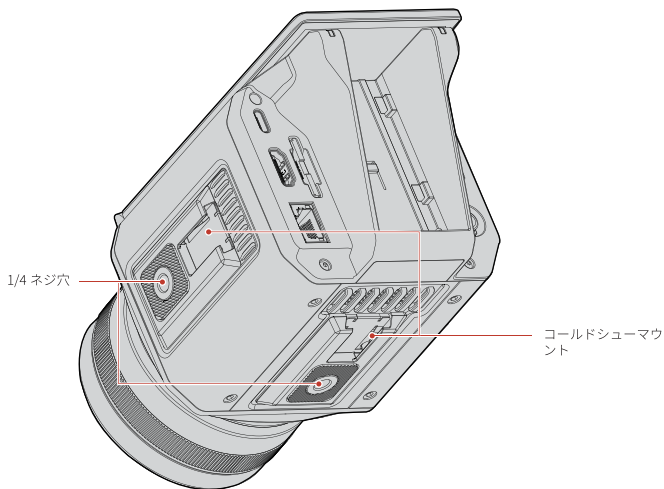
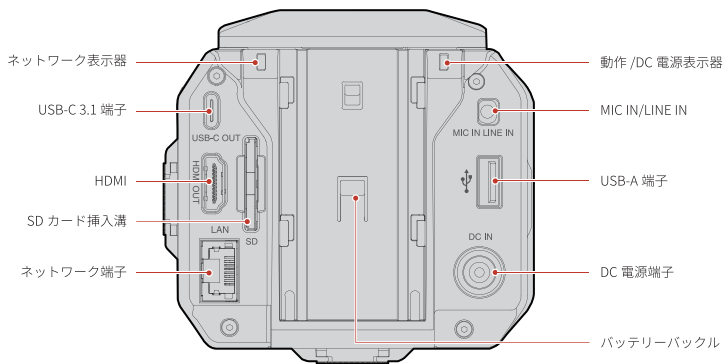
同梱物リスト



① VenusLiv	x1
② 12V 2A アダプター	x1
③ USB ケーブル	x1
④ ケーブルタイ	x1
⑤ 取扱説明書	x1
⑥ 保証書	x1

部品の説明

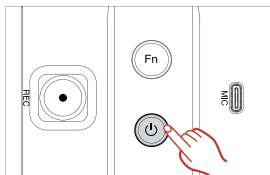




各部の機能

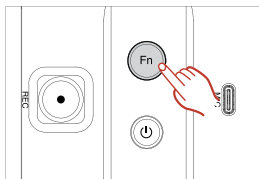
電源ボタン

このボタンを3秒間押し続けると、カメラの電源がオンまたはオフになります。



Fn ボタン

このボタンを押すとライブシーンが切り替わります。



REC ボタン

- Live モード：このボタンを押すとライブ配信が始まります。

注意：

ライブ配信を開始するには、ネットワーク接続とストリーミング URL が必要です。

- Photo モード：このボタンを押して写真を撮影します。

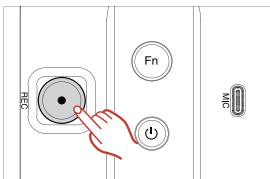
注意：

写真を撮影するにはストレージデバイスが必要です。

- Video モード：このボタンを押してビデオを撮影します。

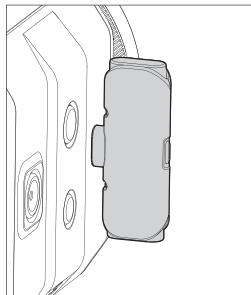
注意：

ビデオを撮影するにはストレージデバイスが必要です。



LARK C1 または LARK MAX ワイヤレスマイクの接続用 USB-C 2.0 端子

この端子に、Lark C1 または Lark Max ワイヤレスマイクを接続します。USB-C 端子の付いた他のオーディオデバイスが接続されている場合、互換性の問題が発生する可能性があります。

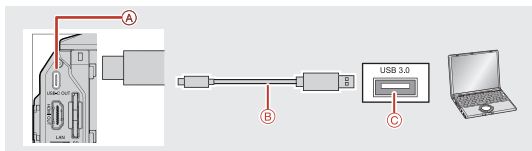


UVC ストリーミングの実行用 USB-C 3.1 端子

この端子は、USB ケーブル経由の PC への接続をサポートし、オーディオおよびビデオストリームを送信します。

注意：

純正の USB-C 3.0 ケーブルを使用してください。USB-C 3.0 以前のケーブルでは、オーディオやビデオストリームの送信ができない可能性があります。



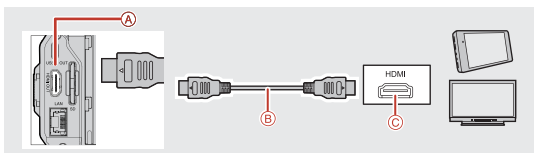
HDMI

HDMI 同一画面出力：

カメラがモニターに接続されていると、カメラ UI をモニターに同期表示して、監視することができます。

HDMI コンテンツのみの出力：

カメラが配信ステーションまたはモニターに接続されていると、オーディオとビデオのストリームを出力して、ストリーミングすることができます。

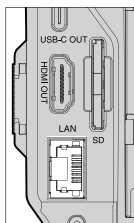


RJ45 端子

この端子は、ネットワークに接続し、ストリーミングを実行するために使用されます。

緑のライトが点灯：カメラがネットワークに正しく接続されています。

赤のライトが点灯：カメラがネットワークに接続されていません。

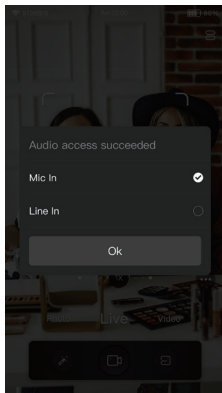
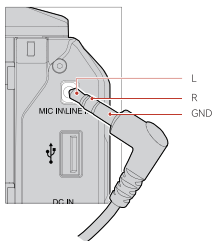


3.5mm 端子

この端子は、3 セクションの LINE IN または MIC IN デバイスに接続するために使用されます。

注意：

LINE IN または MIC IN デバイスが接続されている場合は、対応するモードを選択してください。さもないと、音声の受信に異常が発生したり、音声を受信されなくなる可能性があります。



USB-A 端子

この端子は、USB フラッシュドライブに接続して写真やビデオを保存したり、マウスやキーボードに接続してカメラを操作する目的で使用されます。

注意：

1. カメラが情報を送信したり情報にアクセスしているときは、USB フラッシュドライブを取り外さないください。さもないと、データが失われたり破損することがあります。また、USB フラッシュドライブやカメラが破損することがあります。USB フラッシュドライブを着脱する前に、カメラの電源をオフにしてください。破損した USB フラッシュドライブを使用したことによるデータ破損などの損失は回復できません。
2. ビデオを撮影する場合は、クラス 10 以上の USB フラッシュドライブを使用してビデオを保存してください。ビデオファイルの最大サイズは 4GB です。

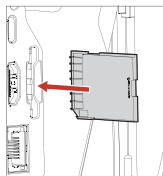
3. USB フラッシュドライブを使用してデータを保存する権限がないというメッセージが表示された場合は、USB フラッシュドライブをチェックするか交換してください。



SD カード挿入溝

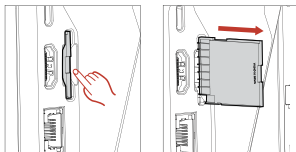
• SD カードの挿入

「カチッ」と音がするまで SD カードを差し込みます。故障の原因となりますので、SD カードを正しく挿入してください。



• SD カードの取外し

SD カードを軽く 1 回押し込んで取り外してください。



DC 電源端子

電源アダプターの端子。カメラを破損しないよう、オリジナルのアダプターを使用することを強くお勧めします。

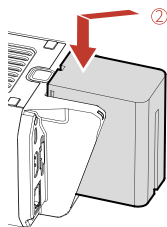
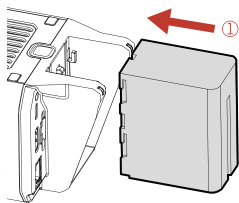


注意：

1. カメラが情報を送信したり情報にアクセスしているときは、SD カードを取り外さないでください。さもないと、データが失われたり破損することがあります。また、SD カードやカメラが破損することがあります。SD カードを着脱する前に、カメラの電源をオフにしてください。破損したSDカードを使用した場合、データが破損しても復元することはできません。
2. ビデオを撮影する場合は、クラス10以上のSDカードを使用してビデオを保存してください。ビデオファイルの最大サイズは4GBです。
3. SDカードを使用してデータを保存する権限がないというメッセージが表示された場合は、SDカードをチェックするか交換してください。

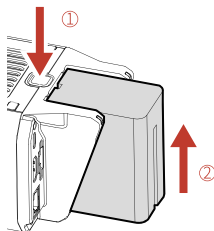
バッテリー挿入溝

- **バッテリーの取り付け**
バッテリーの接点をバッテリー挿入溝のバッテリー接続シートに合わせ、バッテリーをバッテリー挿入溝に挿入します。



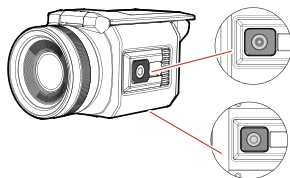
• バッテリーの取外し

- ① バッテリーの取り出しボタンを長押しします。
- ② バッテリーを押し上げて取り外します。



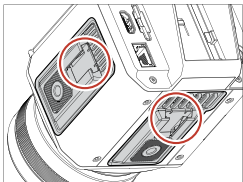
1/4 ネジ穴

カメラを水平または垂直に設置する場合に使用します。



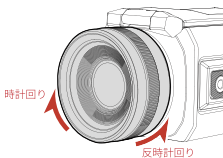
コールドシューマウント

外部機器の取り付けに使用します。



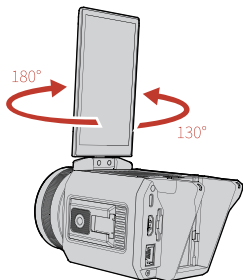
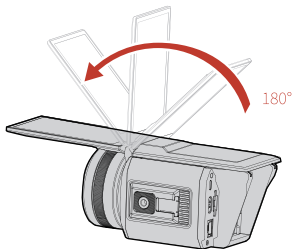
ズームリング

- ズームリングを時計回りに回すと焦点距離が短くなります。
- ズームリングを反時計回りに回すと焦点距離が長くなります。



画面

- 上
画面は180°までしか開きません。これ以上画面を開かないように注意してください。
- 左
画面は180°までしか開きません。これ以上画面を開かないように注意してください。
- 右
画面は130°までしか開きません。これ以上画面を開かないように注意してください。



UVC ストリーミング

1. USB ケーブルを使用して、コンピュータにカメラを接続します。(注意：USB-C 3.0 規格に対応するには、コンピュータの USB 端子と USB ケーブルが必要です。)
2. コンピュータでストリーミングソフトウェアまたはライブ配信ソフトウェアを開きます。
3. デバイスを選択します。
 - カメラとして **HOLLYLAND FHD Camera** を選択します。
 - オーディオデバイスとして **HOLLYLAND** を選択します。

配信へのストリーミング

HDMI ケーブル経由のステーション

1. HDMI ケーブルを使用して、配信ステーションにカメラを接続します (注意：HDMI ケーブルは、HDMI 1.4 以降に対応する必要があります。)
2. 表示されるダイアログボックスで **HDMI Content-Only Output** を選択します。(注意：HDMI Same-Screen Output は、ストリーミングには推奨されません。)
3. 配信ステーションにカメラのビデオストリームと音声が表示されたら、対応するストリーミング URL を入力します。(注意：配信ステーションがネットワークに接続されている必要があります。)
4. 配信ステーションの **Live** をタッチしてストリーミングを開始します。

HDMI ケーブル経由でモニターに接続する

1. HDMI ケーブルを使用して、モニターにカメラを接続します。(注意：HDMI ケーブルは、HDMI 1.4 以降に対応する必要があります。)
2. 表示されるダイアログボックスで **HDMI Same-Screen Output** または **HDMI Content-Only Output** を選択します。
3. 接続が成功すると、カメラのビデオストリームと音声モニターに表示されます。

ホーム画面

















ナビゲーション

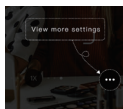


1. 上から下にスワイプすると、クイック設定メニュー画面に移動します。
2. 下から上にスワイプすると、メインメニュー画面に移動します。
3. 左または右にスワイプすると、前のメニュー画面に戻ります。

状態アイコンの説明

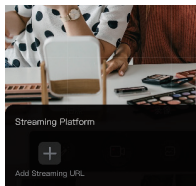
 512KB/S	カメラがイーサネットネットワークを使用しています。
 512KB/S	カメラが Wi-Fi ネットワークを使用しています。
	現在ネットワークがありません。
Am 10:00 現在時刻。	
	カメラに接続されているオーディオデバイスは、Lark C1 または Lark Max ワイヤレスマイクです。
	カメラに接続されているオーディオデバイスは MIC IN デバイスです。
	カメラに接続されているオーディオデバイスは LINE IN デバイスです。
	カメラに SD カードが挿入されました。
	カメラに USB デバイスが挿入されました。
	UVC ストリーミングが進行中です。
	現在 USB-C 接続のみです。
	カメラは HDMI ケーブル経由でデバイスに接続されます。
	カメラの Bluetooth が有効になっています。
	カメラはバッテリー以外の電源によって動作しています。
	カメラはバッテリーで動作しています。

その他の設定

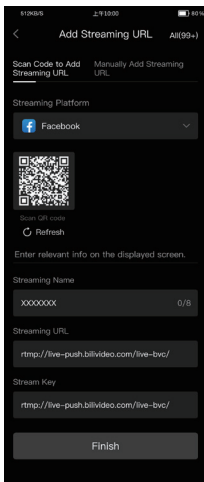


⋮ をタッチすると、画面回転、ライブシーン、Pro パラメータなど、他の機能やパラメータが表示されます。

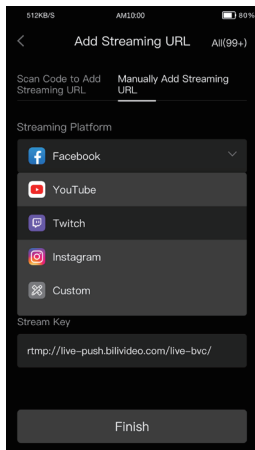
ストリーミング URL



ストリーミング URL を追加するには、次の2つの方法があります。
方法1：携帯電話でQRコードをスキャンし、ストリーミング名とストリーミング URL を入力して、**Submit** をタッチします。情報がカメラに同期されます。次に、カメラで **Finish** をタッチします。



方法2：Manually Add Streaming URL をタッチし、ストリーミング名とストリーミング URL を入力して、**Finish** をタッチします。



ストリーミング URL

ストリーミング URL を入力するには、ストリーミングサーバーのアドレスとストリームキーが必要です。

512KB/S AM10:00 80%

< Add Streaming URL All(99+)

Scan Code to Add Streaming URL Manually Add Streaming URL

Streaming Platform

Facebook

Streaming Name

XXXXXXX 0/8

Streaming URL

rtmp://live-push.biliblideo.com/live-bvc/

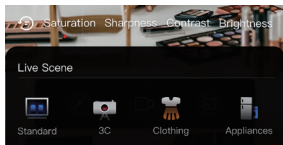
Stream Key

rtmp://live-push.biliblideo.com/live-bvc/

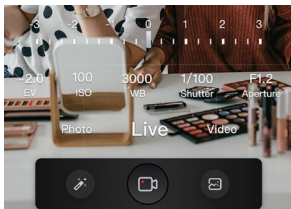
Finish

ライブシーン

カメラは複数のライブシーンをサポートします。



Pro パラメータ



EV	露光補正を調整します。
ISO	カメラの感度を調整します。
WB	ホワイトバランスを調整します。
シャッター	シャッタースピードを調整します。
絞り	カメラの絞りを調整します。

Pro パラメータ設定

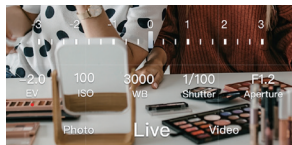
EV

範囲：-3～3

露光補正を調整します：EVをタッチし、EV調整エリアをタッチまたはスライドします。

注意：

ISO またはシャッターのどちらかが AUTO モードの場合、EVが調整できません。ISO とシャッターの両方が AUTO モードになっていない場合、EVは調整できません。



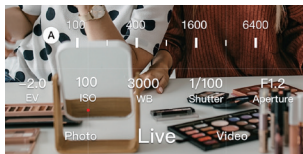
ISO

範囲：100～6400

カメラの感度を調整します：

自動 (A)：環境に応じて、カメラが自動的に感度を調整します。

手動：ISOをタッチし、ISO調整エリアをタッチまたはスライドします。



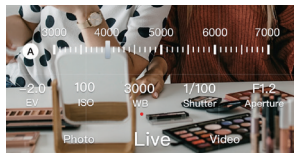
WB

範囲：3000～7000

ホワイトバランスを調整します：

自動 (A)：環境に応じて、カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。

手動：実際のライブ配信環境に合わせてホワイトバランスを調整します。



シャッター

シャッタースピードを調整します：

Shutter をタッチし、シャッタースピードを選択します。

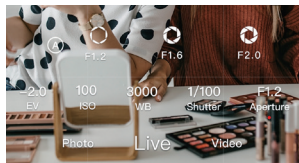


絞り

範囲：F1.2、F1.6、F2.0


絞りを調整します。

Aperture をタッチし、絞りの値を選択します。




ビデオ設定

ビデオ設定に移動します：

ライブモードまたはビデオモードで、右上の  をタッチします。

解像度

ビデオ解像度を調整します：

 > **HD** に移動し、希望の解像度を選択します。ライブモードの解像度が高くなると、大きな帯域幅が必要になり、ビデオモードの解像度が高くなると、生成されるビデオファイルのサイズが大きくなります。

ビットレート

ビットレートを調整します：

📶 > 📹 に移動し、希望のビットレートを
選択します。

ビデオ保存間隔

ビデオ保存間隔を調整します。

📶 > 🕒 に移動し、希望のビデオ保存
間隔を選択します。設定はビデオモード
でのみ有効です。

ズーム範囲

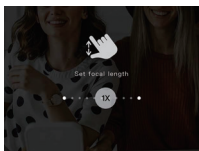
範囲：1倍～6倍

ズーム範囲を調整します：

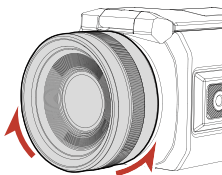
方法1：ズーム値を選択します。



方法2：ピンチして拡大または縮小し
ます。



方法3：ズームリングを回して焦点距
離を調整します。



注意：

ライブ、写真、ビデオモードの焦点距
離は同じです。

アンチバンディング

光の中でのカメラのちらつきを避ける
ために、適切な周波数を選択してくだ
さい。

カメラモード

Photo モード

撮影メニューをタッチして写真を撮影します。

Video モード

撮影メニューをタッチしてビデオを撮影します。

注意：

写真やビデオは外部デバイスにのみ保存できるため、写真やビデオを撮影する際には、SD カードまたは USB フラッシュドライブが必要です。写真またはファイル内の対応するファイルを表示できます。

RTMP ライブモード

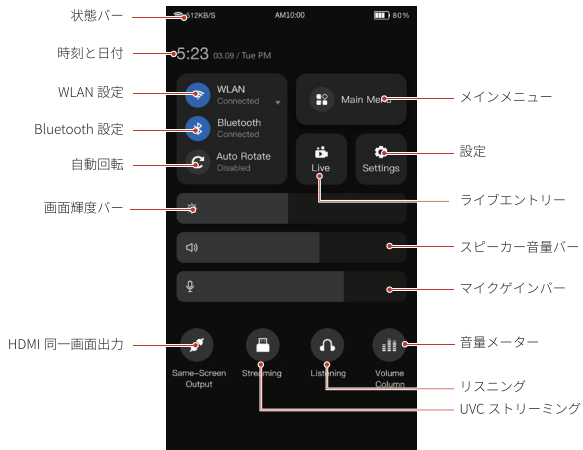
撮影メニューをタッチするとライブ配信が始まります。

注意：

ライブ配信を開始するための前提条件は次のとおりです：

1. カメラがイーサネットまたは Wi-Fi ネットワークに接続されていること。
2. ストリーミング URL が追加されていること。

クイック設定



WLAN 設定

アイコンをタッチして WLAN 機能をオンまたはオフにするか、アイコンを長押しして WLAN メニュー画面に移動します。

Bluetooth 設定

アイコンをタッチして Bluetooth 機能をオンまたはオフにするか、アイコンを長押しして Bluetooth メニュー画面に移動します。

自動回転

アイコンをタッチして自動回転機能をオンまたはオフにします。

画面輝度バー

スライダーを動かして画面の輝度を調整します。

スピーカー音量バー

スライダーを動かしてスピーカーの音量を調整します。

マイクゲインバー

スライダーを動かしてマイクゲインを調整します。

HDMI 同一画面出力

HDMI ケーブルでデバイスにカメラを接続してから、下にスワイプしてクイック設定メニュー画面に移動し、**Same-Screen Output** アイコンをタッチします。HDMI Same-Screen Output と HDMI Content-Only Output を切り替えることができます。

設定

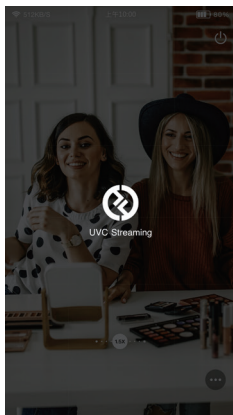
下にスワイプしてクイック設定メニュー画面に移動し、**Settings** アイコンをタッチしてカメラ設定メニュー画面に移動します。

ライブエントリー

下にスワイプしてクイック設定メニュー画面に移動し、**Live** アイコンをタッチしてライブメニュー画面に移動します。

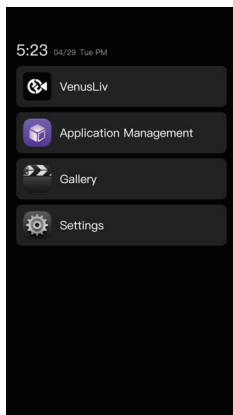
UVC ストリーミング

USB-C 3.0 ケーブルでデバイスにカメラを接続し、下にスワイプしてクイック設定メニュー画面に移動し、**Streaming** アイコンをタッチして UVC ストリーミングモードに移動します。



メインメニュー

下にスワイプしてクイック設定メニュー画面に移動し、**Main Menu** アイコンをタッチしてメインメニューメニュー画面に移動します。メインメニューメニュー画面でアプリをタッチして、アプリに移動します。



音量メーター

下にスワイプしてクイック設定メニュー画面に移動し、**Volume Column** アイコンをタッチして機能をオンまたはオフにします。ライブモードまたはビデオモードでオーディオゲインをモニターできます。

Listening

下にスワイプしてクイック設定メニュー画面に移動し、**Listening** アイコンをタッチしてリスニングモードに移動します。

WLAN に接続する

1. **Settings > WLAN** に移動し、WLAN 機能をオンにします。
2. WLAN 設定メニュー画面で、利用可能な WLAN リストから、接続したい WLAN を選択します。暗号化されたネットワークを選択した場合は、パスワードが必要です。

WLAN の削除

1. **Settings > WLAN** に移動し、WLAN 機能をオンにします。
2. 接続中の WLAN リストで、削除したい WLAN を長押しし、**Delete** をタッチします。

有線ネットワーク

Settings > Wired Network に移動し、有線ネットワーク機能をオンまたはオフにします。

デフォルトでは有線ネットワーク機能がオンになっています。カメラにネットワークケーブルを挿入すると、カメラは、自動的にネットワークに接続します。

手動で IP アドレスを入力する

Settings > Wired Network に移動し、**Obtain IP Address Automatically** 機能をオフにし、希望の IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力して、**Save** をタッチします。デフォルトでは、**Obtain IP Address Automatically** 機能がオンになっている場合、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが自動的に取得されます。

手動で DNS サーバーアドレスを入力する

Settings > Wired Network に移動し、**Obtain DNS Server Address Automatically** 機能をオフにし、希望の優先 DNS サーバーアドレスと代替 DNS サーバーアドレスを入力して、**Save** をタッチします。デフォルトでは、**Obtain DNS Server Address Automatically** 機能がオンになっている場合、優先 DNS サーバーアドレスと代替 DNS サーバーアドレスが自動的に取得されます。

Bluetooth

Settings > Bluetooth に移動し、Bluetooth 機能をオンまたはオフにします。

デバイスの Bluetooth 名の変更：

1. **Settings > Bluetooth** に移動し、Bluetooth 機能をオンにします。
2. デバイスの Bluetooth 名をタッチし、新しい名前を入力して、**OK** をタッチします。

Bluetooth デバイスに接続する：

1. Bluetooth デバイスをオンにして、それが検出可能であることを確認します。
2. **Settings > Bluetooth** に移動し、Bluetooth 機能をオンにします。すると、カメラは、利用可能な Bluetooth デバイスを自動的に検索します。
3. 利用可能な Bluetooth デバイスのリストから接続するデバイスを選択し、指示に従ってペアリングを完了します。

Bluetooth デバイスからの切断

1. Settings > Bluetooth に移動し、Bluetooth 機能をオンにします。
2. 接続中の Bluetooth デバイスリストで、切断したい Bluetooth デバイスを長押しし、Delete をタッチします。

アプリの管理

- アプリを開く
Settings > App Management に移動し、開きたいアプリをタッチします。
- アプリの更新
Settings > App Management に移動し、更新したいアプリをタッチします。

音量と輝度の調整

Settings > Sound & Brightness に移動し、画面の輝度と音量を調整します。

- 画面の輝度の調整
画面輝度バーのスライダーを動かして、画面の輝度を調整します。
- 音量調整
スピーカー音量バーのスライダーを動かして、スピーカーの音量を調整します。
マイクゲインバーのスライダーを動かして、マイクゲインを調整します。

ストレージ

- カメラのキャッシュを消去する
Settings > Storage に移動し、Clear をタッチして、カメラのキャッシュを消去します。
- アプリデータの削除
Settings > Storage に移動し、アプリをタッチしてアプリ管理メニュー画面に移動し、Delete Data をタッチします。
- アプリのキャッシュを消去する
Settings > Storage に移動し、アプリをタッチしてアプリ管理メニュー画面に移動し、Clear Cache をタッチします。
- メモリ
システムとソフトウェアをインストールすると、メモリの空き容量が少なくなります。

ファイル管理

ストレージデバイスの写真やビデオを表示できます。

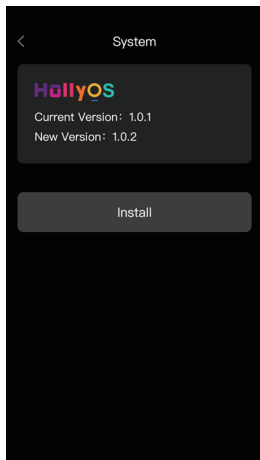
システム & アップデート

システムアップグレード

新しいバージョンがリリースされると、カメラから、システムをアップグレードするために最新のファームウェアをダウンロードしてインストールするよう指示されます。

注意：

アップグレード中は、カメラに電源アダプターを接続したままにし、電源を切らないでください。アップグレードに失敗しカメラが使用できなくなった場合、弊社アフターサービス担当者までご連絡ください。



言語

Settings > System & Update > Language に移動し、希望の言語を選択します。

デフォルト設定の復元

Settings > System & Update > Restore に移動し、Reset Camera をタッチし、指示に従ってカメラをリセットします。

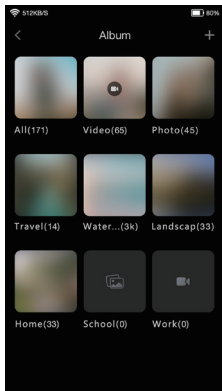
注意：

この操作を行うと、カメラの内部ストレージからデータ（アカウント情報、システムとアプリのデータ、システム設定を含む）が削除されます。データの紛失を避けるため、この操作を実行する前にデータをバックアップしてください。

カメラについて

カメラの基本情報や法的情報をご覧いただけます。

写真メニュー画面



ファイルの詳細

写真やビデオをタッチすると、全画面で表示できます。画面をもう一度タッチしてメニューを非表示にすることもできます。

写真やビデオを全画面で表示しているときに **i** をタッチすると、表示されているポップアップメニューに、写真やビデオのストレージパス、解像度、サイズなどのパラメータ情報を表示できます。

写真とビデオの移動

1. 移動したい写真またはビデオをタッチします。
2. **Move** をタッチして、写真またはビデオの移動先のアルバムを選択するか、移動先のアルバムを作成します。
3. ファイルを移動すると、元のアルバムには保存できなくなります。

写真とビデオの名前を変更する

1. 名前を変更したい写真またはビデオをタッチします。
2. **Rename** をタッチし、新しい名前を入力します。
3. **OK** をタッチします。

写真とビデオを削除する

削除したい写真やビデオをタッチし（ファイルを長押しすると複数のファイルが選択できます）、**Delete** をタッチして、**OK** をタッチします。

注意：

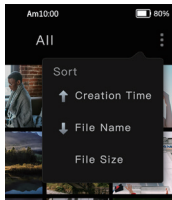
削除した写真やビデオは復元できません。

アルバムを作成する

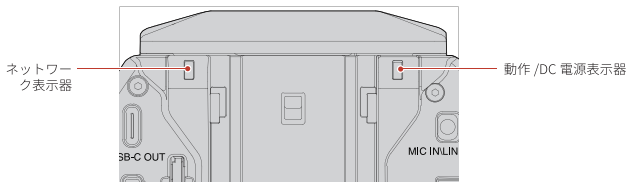
1. 写真に移動し、アルバムメニュー画面に移動します。
2. **+** をタッチし、新しいアルバム名を入力し、**OK** をタッチします。
3. 新しいアルバムに追加したい写真またはビデオを選択し、アルバムに移動します。

写真とビデオを並べ替える

写真に移動し、アルバムメニュー画面に移動し、右上の **⋮** をタッチして並べ替えを開始します。作成時間、ファイル名、またはファイルサイズで、昇順または降順に並べ替えることができます。



状態表示器



ネットワーク表示灯：赤 / 緑 ■ ■

- ・ 緑色で点灯：ネットワーク接続に成功
- ・ 赤色で点灯：ネットワーク接続異常
- ・ 消灯：カメラを初期化中

動作表示灯：赤 / 緑 ■ ■

- ・ 緑色で点灯：通常動作
- ・ 緑色のライトがゆっくり点滅：カメラを初期化中
- ・ 赤色で点灯：カメラの状態異常
例：ファイルストレージの異常またはストレージが一杯、バッテリー低下など。
- ・ 赤のライトがゆっくり点滅：ファームウェアのアップグレードが進行中

DC 電源表示器：黄色 ■

- ・ 黄色ライト点灯：カメラが DC 電源アダプターに接続されています。
- ・ 黄色ライト消灯：カメラがバッテリーで動作中 / カメラの電源が入っている。

仕様

CPU	Qualcomm	
CMOS	Sony	
OS	HollyOS	
重量	900g (31.7 オンス)	
寸法	(長さ x 幅 x 高さ) : 178mmx99.7mmx94.8mm (7 インチ x3.9 インチ x3.7 インチ)	
消費電力	12W 未満	
入力電圧	12V DC	
ワイヤステクノロジー	Wi-Fi : 2.4 GHz + 5 GHz	Bluetooth 5.0
動作温度	-10°C ~ 40°C	
視野	80° (水平) / 46° (垂直)	
ズーム	3X 光学ズームレンズ + 2X デジタルズームレンズ	
フォーカス	自動ハイブリッドフォーカス	
タッチスクリーン	5 インチ液晶ディスプレイ	1080x1920px
外部バッテリー	NP-F バッテリー	
端子	DC IN	ネジ山ロック付き DC 端子
	MIC IN/LINE IN	3.5mm
	HDMI 出力ポート	タイプ A@HDMI 1.4
	SD カード挿入溝	SDIO3.0 @SDXC
	USB-C OUT	USB-C 3.1
	MIC	LARK C1 または LARK MAX ワイヤレスマイクを接続するための USB-C 2.0。
	USB-A	USB 2.0
	RJ45	1.0 Gbps

カメラのセキュリティ

警告：

以下の注意事項を守らなかった場合、感電や火災によって、使用者が重傷を負ったり死亡したり、VenusLiv が損傷する恐れがあります。使用前にカメラや付属品に異常がないか確認してください。安全上の理由から、カメラに付属している Hollyland 付属品または純正付属品のみを使用してください。Hollyland が推奨していない部品、付属品、充電器を使用すると、火災や感電が発生したり、使用者が怪我をする恐れがあります。認定を受けていない付属品を使用して生じた損傷は、保証の対象外です。認定済み付属品については、Hollyland 公式サイト (<https://www.hollyland.com>) をご覧ください。

1. カメラとアダプターを接続する際に、濡れた手でプラグやアダプターに触れないでください。感電の恐れがあります。
2. 不安定な場所にカメラを設置したり、固定しないでください。カメラの緩みや脱落による事故や破損の原因となります。
3. 外部電源接続を使用する場合は、サードパーティ製電源装置の安全規則に従ってください。
4. VenusLiv のレンズはガラス製です。レンズが破損した場合は、割れたレンズやガラスで怪我をしないように慎重に取り扱い、お客様の手の届かないところに保管してください。
5. 動作中にカメラの温度が上昇することがあります。その場合、カメラの電源を切り、温度が下がるまで放置してから再度使用してください。
6. この製品は玩具ではありませんので、使用者は、お住まいの地域の法律、規制、制限を遵守する責任があります。
7. VenusLiv は、ストーキング、盗撮、個人プライバシー規制法に違反する方法で使用しないでください。通常、このような目的でカメラを使用することは固く禁じられています。この指示に従わなかった場合、重大な責任を負い、刑事罰の対象となる恐れがあります。
8. カメラを極端な低温または高温の環境に置かないでください。
極端な低温または高温の環境では、カメラが一時的に正常に動作しなくなる可能性があります。

注意：







VenusLiv のレンズには保護機能がありません。注意しないと、簡単に傷が付きます。付属の箱に VenusLiv を入れ、レンズが固い面と接触しないように保管してください。レンズの傷は保証対象外です。

免責事項

1. 指示をよく読みそれに従ってください。
2. 警告文に注意してください。
3. ラジエーター、電気ヒーター、ストーブといった熱発生機器などの熱源の近くで、本製品を使用しないでください。
4. Hollyland が指定または提供した部品や付属品のみを使用してください。
5. メンテナンス作業は有資格者にお任せください。電源ケーブルやプラグの損傷、液体の浸入、製品内への異物の落下、雨や湿気にさらされる、正常な動作の不能、落下など、製品が何らかの損傷を受けた場合、メンテナンスが必要です。

サポート

製品の使用中に問題が発生した場合、または援助が必要な場合は、以下へご連絡頂くと、テクニカルサポートを受けることができます。

-  Hollyland User Group
-  HollylandTech
-  HollylandTech
-  HollylandTech
-  support@hollyland.com
-  www.hollyland.com

宣言文：

本取扱説明書の著作権は、Shenzhen Hollyland Technology Co., Ltd. に帰属します。Shenzhen Hollyland Technology Co., Ltd. の書面による承認がない限り、いかなる組織または個人も本説明書の一部または全部を無断で複製または複製すること、あらゆる形式で本説明書を配布することはできません。

商標に関する宣言文

本取扱説明書の商標は、Shenzhen Hollyland Technology Co., Ltd. に帰属しています。

注意：

本取扱説明書は、製品のバージョンアップグレードなどの理由により、随時更新されます。別段の合意がない限り、本書は使用に関する指示のみを目的として提供されます。本書に記載されているすべての表現、情報、推奨事項は、明示または黙示を問わず、いかなる種類の保証を行うものではありません。

FCC 要件

規制順守責任者より明示的に承認されていない変更または改造を行うと、本装置を操作するユーザーの権利が無効になることがあります。本製品は、FCC（米国連邦通信委員会）規則第 15 条の内容に準拠しています。次の 2 条件に従って動作するものとします。(1) 本装置が有害な干渉を引き起こさないこと。(2) 本装置は望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含む、あらゆる干渉受信を容認しなければならないこと。ります。

FCC 輻射被ばく声明

本装置はテストされ、FCC SAR の制限に準拠していることが確認されています。

注意：

本装置は FCC 規則第 15 条に定められたクラス B デジタル機器の制限について試験され、適合することが確認されています。これらの制限は住宅への設置における有害な干渉に対して妥当なレベルの防護を提供するためのものです。本装置は電波を発生または使用し、無線周波数エネルギーを放射する可能性があり、取扱説明書にしたがって設置および使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。また、特定の設置状況において干渉が発生しないという保証もありません。本機器がラジオやテレビの受信状態に有害な干渉を引き起こす場合（機器の電源をオンオフすることで確認できる）、以下の手段の一つ以上を適用してそれに対応するよう推奨されます：

- 受信アンテナの方向や位置を変える。
- 機器と受信機の離隔距離を大きくする。
- 受信機が接続している回路と別の回路のコンセントに機器を接続する。
- お困りの際は、お買い上げの販売店またはラジオ・テレビ技術者にご相談ください。

